

和歌にも詠まれた天香久山を駆け上ると、そのまま飛鳥時代まで突き抜けてゆきそう

ロゲイニング大和三山・橿原
2014年10月5日 奈良県橿原市

結果

5時間家族

1	Team Heart Golds	688点
2	ディアンシー	479点
3	必着!かさねっこ	157点

5時間混合

1	GNK	916点
2	木酔会	914点
3	WRロゲイン隊 パパ	879点

5時間男子

1	マップ	1418点
2	ささみチーズ	1117点
3	元バドミントン部	940点

5時間女子

1	チームだいたい	545点
2	チーム麦塾	512点
3	佐藤薬品 A	240点

5時間ソロ

1	アコピーズ	1251点
2	runDNA	833点
3	つうばいつう	617点

3時間

1	杉風会	663点
2	たいしょう	561点
3	お城の森	540点



大和三山の天香久山山頂にて。万葉集に九首も詠まれた大和三山を代表する丘。歴史的風土特別保存地区と国の名勝に指定されている。山頂には国常立神社(くのにのこたちじんじゃ)が祀られ、遊歩道も整備されている。写真は筆者木村と息子のチーム「チョロ」。急に雨が降ってきて、まさに雨の香久山。



大和三山の耳成山(みみなしやま)を下る。きれいな円錐形をした丘のような山だ。

期待そのまま

ロゲイニング大和三山は個人的には今年一番の注目ロゲ大会だった。理由はいくつかある。

第一回目

この地で本格的なロゲイニングが行われた最初の大会である。第一回というだけでワクワク感があるのは私だけ？

地元の本気

このイベントは橿原市在住の人たちの開催への強い意欲が発端となった。結果的に橿原市の行政を挙げてイベントが行われた。開会式で森下市長が挨拶されたのは、その意気込みの表れだろう。と同時に多くのイベントスタッフが手作りで大会を支えていた。

フィールド

大和三山のあたりは飛鳥、藤原宮など古代日本の政治の中心地だった。物部氏、蘇我氏、聖徳太子が活躍したのもこのあたり。数々の宮ができてはクーデターが繰り返された舞台である。私がこのあたりに詳しいのはマンガ「日出処天子」(山岸涼子)の影響が大きい。

地図

奈良県に縁のある西村氏(NishiPRO)作成の地図が提供された。奈良盆地に広がる街や里山の小径があますところなく表現された。このように街と里が入り混じった場所では、正確な地図は競技や戦略をしっかりと支えてくれる。

コース

とても第一回目とは思えない練られたコースに感じた。「第一回目からこんなにネタ豊富でいいの?」と思える。だがそこはもともとネタ豊富な飛鳥の地。来年以降、いくらでも新しいネタが出てくるだろう。競技の要所にベテランオリエンティア、ベテランロゲイナーが入っていたことで、いいコースになったのではないと思う。

関西で大人気!

関西でのロゲイニングの開催数は少ない。それだけに関西でのロゲイニング需要は強い。今回もエントリー開始したら、あっという間に募集定員に達してしまったという。この勢いでまだ

まだ関西でもロゲイニングイベントが増えそうな予感がする。歴史観光とスポーツが一体になった里山ロゲイニングは関西にマッチしている。

大和三山制覇！

天香久山（あまのかぐやま）、畝傍山（うねびやま）、耳成山（みみなしやま）。奈良盆地に浮かぶ目立った三つの丘陵を合わせて「大和三山」と呼ばれている。古代日本の政治の中心にあった山として、数々の和歌にも詠まれ有名である。これらの丘はこんもりとした山として近鉄電車の車窓からよく見える。だが、遠方からきた旅人がわざわざ登ろうとするような丘でもない。こうしたイベントでも無ければ大和三山に登ることはないだろう。名前だけは有名だけど、意外と登った人はいないのが実情ではないだろうか。

私たちのチームは最初から大和三山制覇を狙って作戦を立てた。平坦な奈良盆地の中の住宅地や田んぼの中の道を通して、それぞれの山を目指す。一歩山に入ると、短いながらも本格的な山道となる。耳成山の山頂には三角点、畝傍山の山頂には展望ベンチが、天香久山の山頂には神社がそれぞれあった。



大和三山のラスボス「畝傍山」（うねびやま）。会場からも近く、多くの参加者がその山頂を目指した。

雨の香久山

台風 18 号の影響を受け始めていた。九州では台風の雨が降り、関東でも前線からの大雨が降っていた。幸い奈良はその狭間にあって、雨の影響は少なかった。それでも私たちのチームが大和三山に入ると必ず雨に降られた。

天香久山山頂の神社で雨宿りしていると、最高得点を叩き出したチーム「マップ」の二人が現れた。速そうな風貌から韋駄天ともスーパーサイヤ人とも呼びたい「マップ」だが、もはやレースも後半で香久山を登り切った直

後はへろへろの状態になっていた。それでも呼吸を整えて、あっというまに香久山から走り去っていった。



天香久山山頂で行きあった「マップ」のキミさん。今回ダントツの最高得点を叩き出した、現代の韋駄天、スーパーサイヤ人。

江戸時代の迷路

意外に知られていないが、橿原市には江戸時代の町並みが残されている。初めてそこを巡るのも今回楽しみにしていた。

「今井町」と呼ばれるその一角はまるで迷路。町屋が並び細い路地が縦横に広がっている。ここで NishiPRO 謹製の地図が大活躍。細かいながらも 1:25,000 縮尺で描き切った迷路の中を懸命にナビゲーションで通り抜ける。

「今井町」の街並みは風情も保存状態も素晴らしかったが、難易度もロゲイニングとしては最高難度だった。



複雑な今井町の中を悩みながら駆け抜けてゆく参加者。古い街並みがよく保存されているが、観光客の数はまばらで閑散としている。こうした場所にスポットがあたるのもロゲイニングのいいところ。



コントロールにもなった「八木札の辻」。日本最古の交差点らしい。古い町並みが保存されている。そこにある交流館に入ってお茶を一杯。実はここは泊まっていた旅館からわずか 30m の場所だった。

来年はクリック競争か？

とにかく大満足のロゲイニング大和三山・橿原。来年はきっと人気が沸騰するに違いない。畝傍山を下ってくる女子組にインタビューを試みたところ「た～のし～い～！」という返事が返ってきた。この言葉が次回へのパワーとなるだろう。

（木村佳司）



女子優勝の「チームだいたい」。橿原市長から表彰される。



天香久山で出会った参加者。楽しそう。